科目名			担当教員	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			狩野　俊介	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3093	2	1	RorSR (講義)	2 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

ソーシャルワークの専門性と基盤や倫理の理解の上に、ソーシャルワークの視点（人と環境の相互作用への視点）、モデル、アプローチについて、対面授業や履修者間での意見交換，印刷教材などによる授業で学ぶ。

■到達目標

1）ソーシャルワークの基盤的な人と環境の交互作用に関する視点と，それに関連する理論，ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。

2）ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチについて説明できる。

3）ソーシャルワークのプロセスと活用する知識や技術、価値について説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

■教科書・参考図書

【教科書】（「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］12 ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）』中央法規出版、2021 年

（スクーリング時の教科書）上記教科書は参考程度に使用します。

【参考図書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］13 ソーシャルワーク演習（共通科目）』中央法規出版、2021 年

■事前に学習してほしい科目

「ソーシャルワークの基盤と専門職」を学習しておくことが望ましい。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

ソーシャルワークの専門性と基盤や倫理を理解し、ソーシャルワークの視点（人と環境の相互作用への視点）、モデル、アプローチ、プロセスについて学ぶ。

また、ソーシャルワークのプロセスや専門性についても、具体的な理解が進むように学んでほしい。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	人と環境との交互作用に関する理論について	人と環境の交互作用について理解するために、生態学的な視点とその背景理論としてシステム理論について学ぶ。
2	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ１	治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルを取り上げ、それぞれの特徴と適用時の留意点について理解する。
3	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ２	心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチなど主要なアプローチを取り上げ、それぞれの特徴と違い、適用時の留意点について理解する。
4	ソーシャルワークの過程１	ソーシャルワークのプロセスの全体像を確認した上で、「ケース発見」及び「インテーク」、「アセスメント」及び「プランニング」について目的や意義、実施の留意点について理解する。
5	ソーシャルワークの過程２	ソーシャルワークのプロセスのうち、「支援の実施」、「モニタリング」、「評価」、「集結とアフターケア」について目的や意義、実施の留意点について理解する。
6	ソーシャルワークにおける面接１	ソーシャルワーク面接の目的や特性、形態，場所等を確認する。
7	ソーシャルワークにおける面接２	ソーシャルワーク面接におけるコミュニケーション技法や面接技法を確認する。
8	ソーシャルワークにおける記録の目的や意義、記録の方法	ソーシャルワークにおける記録の目的や意義、記録の方法、留意点について学ぶ。記録の実際に触れることで理解を深める。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング中に学んだ内容から出題します（自筆ノートと配付資料のみ持ち込み可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の第 1 章から第 10 章まで読んできてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	ソーシャルワーク理論と枠組み１（第１章、他参考図書等）	ソーシャルワークの背景理論であるシステム理論、生態学理論について	教科書をよく読み、理解すること。
2	ソーシャルワーク理論と枠組み２（第１章、他参考図書等）	ソーシャルワークのモデルについて	バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて、事例を参照しながら、具体的に学んでください。
3	ソーシャルワーク理論と枠組み３（第１章、他参考図書等）	ミクロからマクロ・レベルまでの連続性、共生社会作りにつながるソーシャルワークの目標、展開過程について	ミクロ、メゾ、マクロの各視点と連続性について、事例を参照しながら具体的に学び、開発機能の重要性について理解してください。
4	ソーシャルワークのプロセス（第２章、他参考図書）	ケースの発見からインテーク、契約まで	ソーシャルワークのプロセスにおけるこの段階を、事例を参照しながら具体的に理解してください。
5	ソーシャルワークのプロセス（第３章、他参考図書）	アセスメント	アセスメントの意義、目的、重要性について理解し、ソーシャルワーク・プロセス全体における意味を具体的に理解してください。
6	ソーシャルワークのプロセス（第３章、他参考図書）	アセスメント	アセスメントの方法と留意点を、事例を参照しながら、具体的に理解してください。
7	ソーシャルワークのプロセス（第４章、他参考図書）	プランニング	プランニングの意義と目的、およびメゾ、マクロ・レベルにつながる視点を学び、事例を通してその方法を具体的に学ぶ。
8	ソーシャルワークのプロセス（第５、６章、他参考図書）	支援の実施（介入）とモニタリング	支援の実施を、特にメゾ、マクロ・レベルへの連続性を意識しながら具体的に理解してください。また、モニタリングの重要性を、目的、方法とともに理解してください。
9	ソーシャルワークのプロセス（第５、６章、他参考図書）	効果測定（プロセス評価、結果評価）と終結、アフターケア	効果測定の意義、意味、必要性とその方法を、教科書を読んで理解してください。また、終結に至るプロセスを、事例を通して具体的に理解してください。
10	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ１（第７章、他参考図書）	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ	史的展開をふまえ、その考え方と今日的課題について、教科書を読んで学んでください。
11	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ２（第７章、他参考図書）	様々なアプローチ	心理社会的アプローチ以下、様々なアプローチについて、事例を通して具体的に理解してください。

12	ソーシャルワークの面接（第８章、他参考図書）	ソーシャルワーク面接の意義と目的、および方法	ソーシャルワーク面接の意義と目的を、教科書を読んで理解してください。面接事例をとおして、具体的にその構造や留意点について学んでください。
13	ソーシャルワークの記録（第９章、他参考図書）	ソーシャルワークの記録の意義、目的と方法	ソーシャルワークの記録の意義と目的を、教科書を読んで学び、実例を通して、フォーマットや記録の内容を学んでください。
14	ケースマネジメント 1(第 10 章、他参考図書）	ケースマネジメントの原則､意義	史的展開もふまえ、教科書を読んでケースマネジメントの原則、意義について理解してください。
15	ケースマネジメント 2(第 10 章、他参考図書）	ケースマネジメントの実際	事例を参照して、ケースマネジメントの方法を具体的に理解してください。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	ソーシャルワークの人と環境の相互作用におく視点、そして生活モデルについて説明し、ソーシャルワークの過程とその留意点をまとめなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

課題の概念を正確に知識として理解し把握することは当然のこととして、事例などをもとに具体的に実践上でのイメージを持つこと。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

教科書以外に参考図書などを用いて、これらが具体的に理解できるようにしましょう。

また、概念を個別に説明するだけでなく、ソーシャルワークの枠組み、ミクロからマクロ・レベルへの連続性などへも視線を向けてください。

科目修了試験

■評価基準

1）科目全体の内容について問います。

2）各概念について、正確に理解できていなくてはなりません。

3）記述内容について，適切に記載されていることが大切です。

4）題意を正確に把握するように努めてください。

5）800 字以上が必要な記述の分量です。